

## ダンスがかわいい夜行性の妖怪鳥 トラツグミ

4月上旬ごろ、桜が咲く季節になった。この時期は都市公園に多くの渡り鳥が入り始め、ツミも繁殖を始める。私のような鳥野郎にとっては、待望の春である。そんな時、猿江公園でよく一緒に鳥を見ている野鳥カメラマンが、「そこにトラツグミが出て、さっきは桜にとまって綺麗だったよ〜」と教えてくれた。私はトラツグミを他所で何度か見たことがあるが、今、猿江公園の関係各所から作成を依頼されている「猿江公園の生物目録」に追加するため自分の目で確認することにした。一般利用者の目撃情報だけで目録をつくるのは心もとないのだ。きちんとした目録を作る為には、自分たちの目で確認し、証拠の写真を残さなければならない。ここで、トラツグミとは何か説明しておこう。トラツグミは山林地帯に生息しているツグミの仲間で、名の通り羽が虎柄である。基本的に夜行性で、夜に「ヒュ〜」と口笛のような鳴き声で鳴く。その鳴き声は昔、鵜（ぬえ）という妖怪（または伝説動物）のものとされていた。つまり、トラツグミは妖怪に1番近い鳥といえる。

次の日から、午前5〜6時に起きて午前6〜7時くらいには公園に入るようになった。しかし、トラツグミは夜行性なので、この時間でも遅くて全然見れない。このようなキツイ生活を毎日続けるのは辛いので流石にやめようと思い、翌日は午前4時に起きて始発に乗り、トラツグミとの決着をつけようと思った。

その日は5時ごろには猿江公園に到着した。教えてくれたカメラマンと一緒にトラツグミを待っていると、午前6時ごろにトラツグミが木から降りてきた。6時とはいえども全然日が出ておらず、更に暗い木の下にいたので写真は黒つぶれしたものしか撮れなかった。明るいところに出てくるのをじっと待つものの、一般客が来て逃げてしまう。（トラツグミはかなり臆病な鳥。人気を嫌うその生態で妖怪と思われるのも納得である。）その後、10分くらいすると再び降りてきた。しかし明るいところには出てこない。どんどん暗い写真が量産されて心まで暗くなりそうになった時、散歩の犬が来てまた上にあがってしまった。そして、そんなことを何回か繰り返した後、今度は明るい方にも出てきてくれた。更に、飛んで木の上に止まった！トラツグミが木の上に止まるのが見えるのは結構珍しい（私はこの時初めて見た）。木の上なので明るさも確保でき、良い写真がたくさん撮れた。私の早起きは三文以上の徳になったのである。これで作成中の目録・図鑑に使える写真が確保できた！

今回、私がこれだけ早起きし、苦勞して見たトラツグミだが、読者諸君の中で「絶対に猿江で見たい！」というこだわりがない人は、冬に水元公園などに行ったら簡単に見られるので、そちらをおすすめしたい。トラツグミは地味な色をしているが、トラ模様が美しく、採食の時に行うトラダンス（写真の説明欄に詳しく記載）がかわいいのでぜひ、みなさんにも一度は見てもらいたい。



猿江のトラツグミ（左：暗所にいるところ、右：高い木の枝に止まったところ）

左のトラツグミのつばさから尾の部分にかけてブレているのはトラツグミが地面で行動する際に上下左右する運動（通称：トラダンス）をおこなっているからだ。このトラダンスが結構見ていて面白いしかわいい。「妖怪に近い鳥」と書いたが「マスコットキャラのような鳥」の方が正しいかもしれない。みなさんもぜひトラダンスを見てほしい。



後日、朝の散歩のときに普通に出てきたトラツグミ

鳥というのは人の努力を簡単に裏切る生き物で、鳥を観察していると、見たいときになかなか見れず、どうでもいいときや大事なときに出てくるのがよくある。このトラツグミもあんなに早起きしていた日々には見れずに後日サラッと見れてしまうのである。